

研 究 活 動 報 告

(2018年10月～2019年9月)

情報社会学科

小寺 昇二 Shoji KOTERA

(著書)

- 1) 徹底研究!! GAFAs, 分担執筆, 2018年12月 洋泉社MOOK Chapter 1 GAFAsのビジネスモデルの【Google】と【Apple】の項を執筆 pp.16-23 pp.40-47
- 2) GAFAsとは何か?～企業DNAと成遂げてきたこと 単著 2019年3月 Amazon Services International, Inc. (Kindle版) 全185頁
- 3) GAFAsとは何か?～企業DNAと成遂げてきたこと 単著 2019年5月 Next Publishing Authors Press (ペーパーバック) 全130頁

(その他)

- 1) インターネットメディア“The Urban Folks” 単著 インターネットの歴史から考えるインターネットビジネスの本質」を6月～9月に18回連載。

佐藤 由美 Yumi SATO

(その他)

- 1) 日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (C) 日本統治下台湾・朝鮮の師範学校に関する研究 2017年4月～2022年3月 研究代表: 佐藤由美

高橋 広治 Koji TAKAHASHI

(研究発表)

- 1) 非等方的速度分布の初期条件の下での球状星団の力学的進化 単独 2019年9月 日本天文学会秋季年会 (熊本大学)

田中 克明 Katsuaki TANAKA

(論文)

- 1) 共起語の類似度を利用した文書集合からの変化記述の対象抽出の試み 単著 2018年3月 埼玉工業大学人間社会学部紀要第17号 pp.15-21
- 2) 共起語の類似度と時刻分布を利用した文書集合からの変化記述の対象抽出の試み 単著 2018年6月 2019年度人工知能学会全国大会予稿集
- 3) Finding Diachronic Objects of Drifting Descriptions by Similar Mentions 共著 2019年8月 Proc. of 2019 Pacific Rim Knowledge Acquisition Workshop pp.32-43

(その他)

- 1) 日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (C) 自らを通時的な対象とする情報蓄積フレームワークの構築 2016年4月～2020年3月 研究代表：田中克明

檀上 誠 Makoto DANJO**(研究発表)**

- 1) 河童の身体的肖像表現における三次元造形デザインに関する研究 共同 2019年8月 埼玉工業大学先端科学研究所第17回若手研究フォーラム

林 信義 Nobuyoshi HAYASHI**(著書)**

- 1) 大学生活からはじまる！社会人への道 単著 2019年6月 若い世代へのメッセージ [第三版] 埼玉工業大学出版会 pp.29-46

(研究発表)

- 1) 未来へつなげるイノベーションの起こし方 単独 2019年2月 埼玉県商工会議所青年部連合会 平成30年度「ヤングリーダー研修会」深谷大会

(その他)

- 1) 理系大学の文系学科が注目されるわけ 埼玉大「情報社会学科」にみる企業が欲しがると人材育成 2018年12月4日 マガジンサミット

宮井 里佳 Rika MIYAI**(その他)**

- 1) 日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (C) 中国唐代・道綽浄土思想の基礎的研究 2019年4月～2021年3月 研究代表：Conway Michael

森沢 幸博 Yukihiro MORISAWA**(研究発表)**

- 1) 脳波可視化システム「ZENAVI」 共同 2018年11月 寺フェス2 研究展示 (大正大学)

(その他)

- 1) 次世代EV開発プロジェクト：UI/UXデザイン担当 共同 2015年4月～2019年3月
- 2) 学内共同研究プロジェクト：「次世代インストルメントパネル開発」 共同 2016年4月～2019年3月

李 艶紅 Yanhong LI

(論文)

- 1) 株式併合を用いた二段階買収における株式の公正な買収価格—公開買付価格・買取価格が1株当たり簿価純資産額を下回っていた場合— 単著 2018年12月 法律のひろば 第71巻12号 pp.45-52

心理学科

大塚 聡子 Satoko OHTSUKA

(研究発表)

- 1) Discrimination of 3D spaces generated by binocular disparity and pictorial cues. (単独) 2019年7月 The 15th Asia-Pacific Conference on Vision (APCV2019), Osaka, Japan.

小野 広明 Hiroaki ONO

(論文)

- 1) 見えない存在「加害者家族」—理解・そして支援へ— 共著 2019年5月 埼玉工業大学臨床心理センター年報第13号 pp.33-38

河原 哲雄 Tetsuo KAWAHARA

(研究発表)

- 1) 交差状況学習における階層的ラベルと対称性 単独 2019年5月 日本認知心理学会第17回大会 京都女子大学 (京都)
- 2) PC版アイオワギャンブル課題の日本語版と英語版の同等性の検討 (2) 共同 2019年8月 日本犯罪心理学会第57回大会 日本女子大学 (東京)
- 3) 神経心理学的検査を用いた犯罪・触法知的障害者の攻撃性の類型と各類型の特徴 共同 2019年8月 日本犯罪心理学会第57回大会 日本女子大学 (東京)
- 4) 触法知的障害者の逸脱行動への前頭葉機能とACTの交互作用 共同 2019年8月 日本犯罪心理学会第57回大会 日本女子大学 (東京)
- 5) アイオワギャンブル課題を用いた非行少年の意思決定における特徴の検討 共同 2019年8月 日本犯罪心理学会第57回大会 日本女子大学 (東京)

(その他)

- 1) 日本学術振興会科学研究費 挑戦的研究 (萌芽) 2017年度~2019年度 男子性犯罪受刑者に対する神経生物学的要因を考慮した再犯リスク評価尺度の作成」 研究代表者: 遊間義一 2018年度より研究分担者

友田 貴子 Atsuko TOMODA

(その他)

- 1) 深谷市こころの健康講座「あなたの考え方のクセ、ありますか？」 2019年3月 深谷公民館

藤巻 るり Ruri FUJIMAKI

(論文)

- 1) こころの発達における「二」の成立 単著 2019年3月 埼玉工業大学人間社会学部紀要 第17号 pp.1-13.
 2) 子育て支援幼児グループの心理臨床教育としての意義 単著 2019年5月 埼玉工業大学臨床心理センター年報第13号 pp22-32

(学会発表)

- 1) 発達障害グレイゾーンのプレイセラピーのような心理面接 —「塊になってうまく話せ(離せ)ない」と訴える青年期男性との心理療法過程— 単独 2019年6月2日 日本ユング心理学会第8回大会 (京都)

(その他)

- 1) 未分化な体験世界を生きる子どもとのプレイセラピーにおける治療者の意識過程 2019年9月24日 博士学位論文 (京都大学)

褒岩 秀章 Hideaki HOROIWA

(研究発表)

- 1) 自律訓練法が抑うつに及ぼす影響—大学生を対象とした比較研究— 共同 2019年3月 第36回日本集団精神療法学会大会 (三鷹)
 2) 倫理とは何か (単独) 2019年3月 日本集団精神療法学会倫理委員会企画シンポジウム「研究倫理について語る」第36回日本集団精神療法学会大会 (三鷹)

三浦 和夫 Kazuo MIURA

(研究発表)

- 1) 生活の中の箱庭療法体験—自我体験とマンダラを中心に— 単独 2019年11月 第33回日本箱庭療法学会 (京都)

